

大規模地震時における判定活動体制強化に向けた取り組み

－判定技術向上に向けた訓練の充実化－

- 県では、地震等の大災害後の二次災害を防ぐ調査活動を迅速に行うことができるよう、「被災建築物応急危険度判定」及び「被災宅地危険度判定」の模擬訓練を実施しています。

被災建築物応急危険度判定

◆ 応急危険度判定模擬訓練の実施

～訓練概要～

・解体予定の建築物を活用して地震被害等を再現した被災モデル建築物を作製し、それを用いて**実際の判定活動を体験することで判定士の技術向上を目的とした訓練を実施。**（今年度で18回目）

- ・今年度は、**実践経験のない42名の判定士**が参加

【訓練実施日】

令和3年11月9日

【訓練会場】

常陸大宮市宮大原住宅



訓練状況

※下げ振りを使用して柱や壁の傾斜を測定



被災モデル建築物の屋根被害



サーモグラフィによる映像

～新たな取り組み～

・**ドローンを活用した建築物の被害状況調査のデモンストレーションを実施。**

- ・空撮した映像により、地上からでは目視できない屋根等の被害状況を把握することが可能。
- ・サーモグラフィを活用した撮影により、周辺に残された被災者の位置が確認可能。

被災宅地危険度判定

■ 被災宅地危険度判定模擬訓練の実施

～訓練概要～

・判定士養成講習会は平成12年度から毎年実施中だが、東日本大震災以降に実際の活動実績がないため、判定体験の確保による技術力向上を目的として、**被災した擁壁や法面等の小規模模型を用いた模擬訓練**を導入。（今年度で2回目）

- ・今年度は、**48名の判定士**が参加

【訓練実施日】

令和3年11月26日

【訓練会場】

茨城県歴史館講堂

<参加者の意見>
模型を使用して実習できたため身につやすかった。



小規模模型



訓練状況

■ 実施本部運営訓練の実施

～訓練概要～

・市町村が判定活動の実施本部を設置する際、判定士の支援・指導を行う判定業務調整員の役割が重要になることを踏まえて、その養成とあわせて**本部運営業務を体験するための机上訓練**を導入。（今年度で2回目）

- ・今年度は、**35名の判定士**が参加

【訓練実施日】

令和3年12月20日

【訓練会場】

茨城県市町村会館講堂

<参加者の意見>
・訓練がとても勉強になった。
・地歴、地盤の見方等も教えてもらえてよかった。



訓練状況



訓練状況